

# 神根中だより

～自他共に認め合い学び合う  
夢と笑顔と潤いのある学校～  
令和7年5月号

学校教育目標  
主体的に学び合い  
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根<sup>かみね</sup>中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1  
電話 (048) 296-7025

## 目に見えないもの

校長 寺田 和成

私たちの目はどこまで見えるのでしょうか？もちろん遠いものは見えませんし、近くても、すぐそばで触れていても、空気のように極々小さなものは見えません。逆に大きなものは見えやすいですが、地球のようにあまりにも大きなものは、その全貌を見ることはできません。実は、私たちの生活にも同じようなことが言える気がします。つつい身近すぎて些細なことを見落とし、逆で大勢(たいせい)に流されて本質を見逃してしまったりします。私たちの周りには大事や小事、様々なことがあります。どんなときでも自分の立ち位置をしっかりと定め、自分自身が見えなくなってしまうようなことには、なりたくないものです。

さて、始業式、入学式と、生徒たちは大変素晴らしい態度で式に臨みました。一人一人の成長している立派な姿を見ると、目に見えるものの裏側に、これまでに保護者の方々が注いでこられた「目に見えないもの」の存在を強く感じました。今月は離任式がありますが、離任された先生方も、形に残るものだけではなく、この神根中学校に、そして生徒たちの内面に「目に見えないもの」をたくさん残していったくださったと思います。心より感謝申し上げます。

『かんじんなことは、目に見えないんだよ』 これは、フランスの作家、サン＝テグジュペリ著の有名な「星の王子さま」の一節にある言葉です。物理的に目に見える、見えないではなく、私たちの周りには、もともと目に見えないものがたくさんあります。心、思い、命、気、意識、愛などは目に見えませんが、確かに存在します。時間も、時計こそありますが、実際には見えません。時間軸で考えても、過去の思い出や未来の予想図など、思い描くことはできても、やはり目で見ることにはできません。でも、そのどれもがとても大切なものです。目に見えないものは、なかなか信じられないかもしれません。しかし、世の中は、実は目に見えないもので動かされていることがとても多いような気がします。いつの時代も、目に見える価値観だけにとらわれず、こうした目に見えない豊かな価値観をもち続けていくことが大切だと感じます。

よく私たちは、物事をわかりやすくするために可視化します。例えば、学力についても、見える学力として数値化して提示したりしています。もちろん、この見える学力はとても大切なものです。ただ、その土台には自尊心や自制心、主体性や協調性、忍耐力や創造力などの情意的な、なかなか測ることが難しいもの、いわゆる「見えない学力」があると言われています。生徒一人一人が、多様化する現代社会をたくましく、しなやかに生き抜いていくためには、見える学力はもちろんのこと、家庭生活を含めた日常での経験や体験を通して「見えない学力」を豊かにし、真の確かな学力を育んでいくことが必要だと考えます。

このように、私たちの周りには「目に見えないもの」がたくさんあります。その大切なものの存在をしっかりと捉えられる豊かな感性を、ぜひ磨いてほしいと思います。「目に見えないもの」が人を大きく成長させてくれる、私はそう信じています。